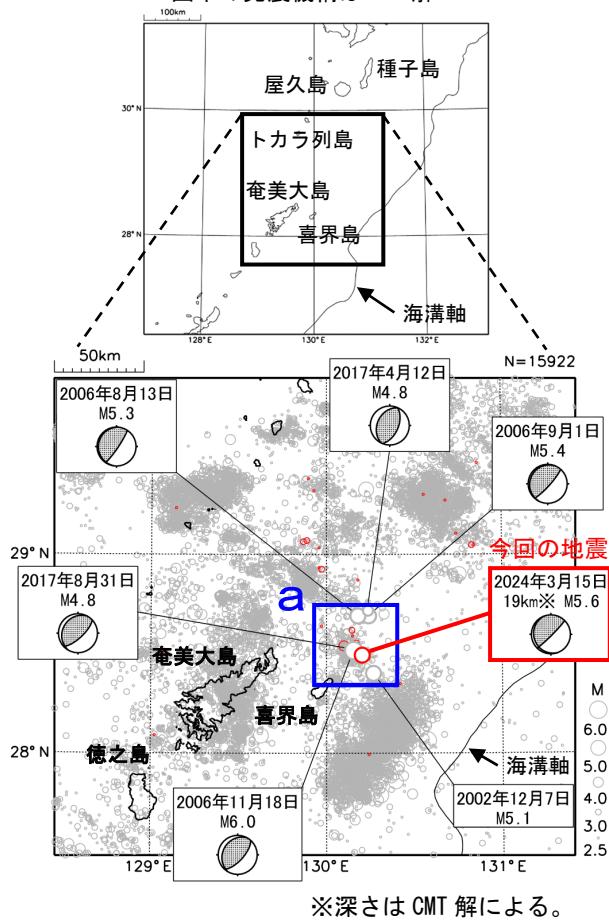


3月15日 奄美大島近海の地震

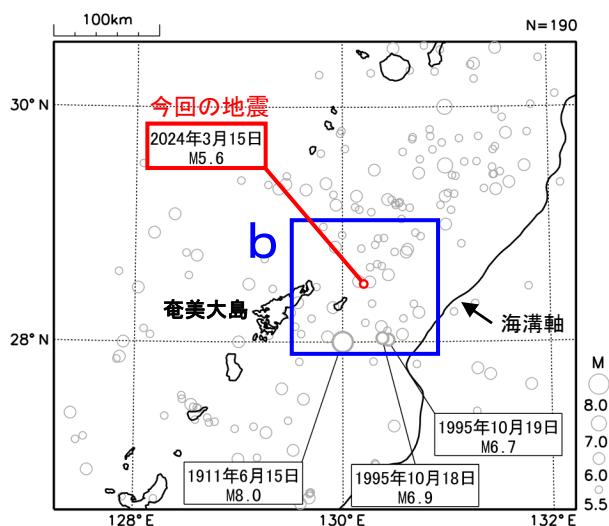
震央分布図

(1994年10月1日～2024年3月31日、

深さ0～60km、M≥2.5)

2024年3月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解

震央分布図
(1885年1月1日～2024年3月31日、
深さ0～120km、M≥5.5)



(震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津(2001)、
宇津(1982, 1985)による*)

※宇津徳治(1982)：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年、震研彙報、56, 401-463。

宇津徳治(1985)：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年(訂正と追加)、震研彙報、60, 639-642。

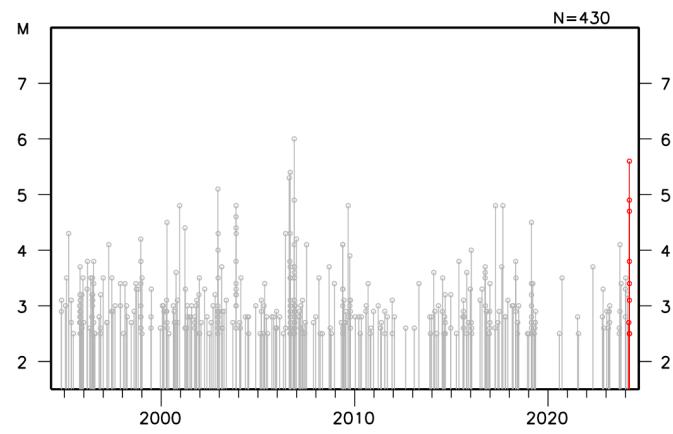
茅野一郎・宇津徳治(2001)：日本の主な地震の表、「地震の事典」第2版、朝倉書店、657pp。

2024年3月15日19時32分に奄美大島近海の深さ19km(CMT解による)でM5.6の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は北西～南東方向に圧力軸を持つ型である。この地震後、3月31日までに震度1以上を観測した地震が3回(震度3:1回、震度2:1回、震度1:1回)発生した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M5.0以上の地震が今回の地震を含め5回発生している。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震が時々発生している。1995年10月18日に発生したM6.9の地震(最大震度5)及び翌19日に発生したM6.7の地震(最大震度5)により、喜界島で負傷者1人、住家一部破損4棟などの被害が生じた。これらの地震により、鹿児島県の中之島で43cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測するなど、関東から沖縄にかけての太平洋沿岸で津波を観測した(被害は「日本被害地震総覧」による)。また、1911年6月15日にはM8.0の地震が発生し、死者7名、負傷者26名、住家全壊418棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図



領域b内のM-T図

